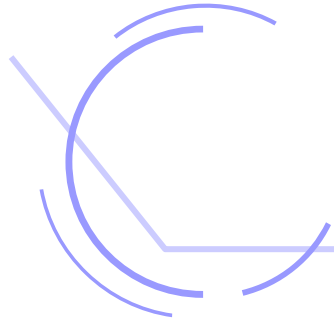


平成19年遊泳者事故の分析について

マリンレジャー安全推進室 遊泳者チーム

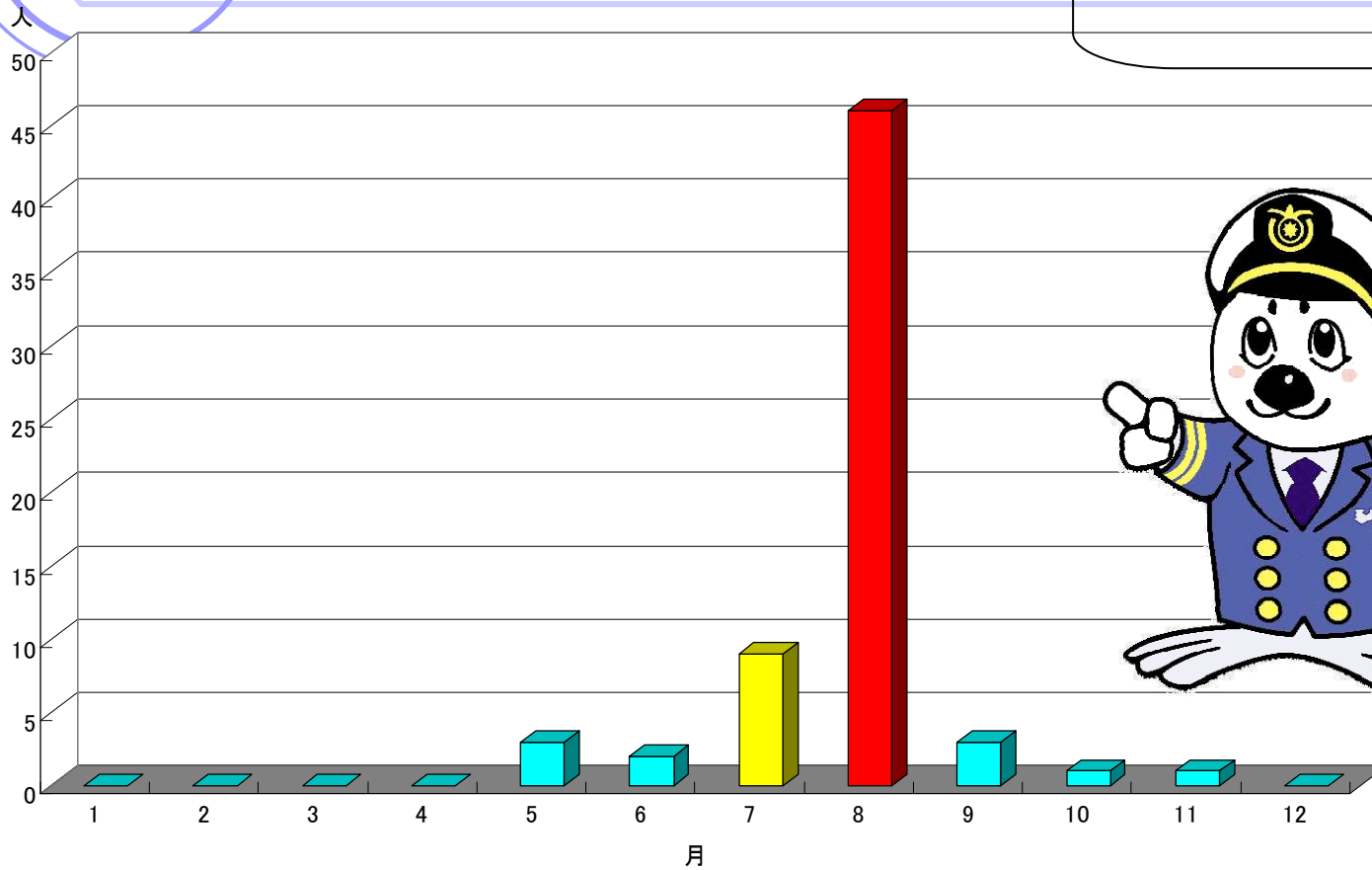




遊泳者事故の全体把握



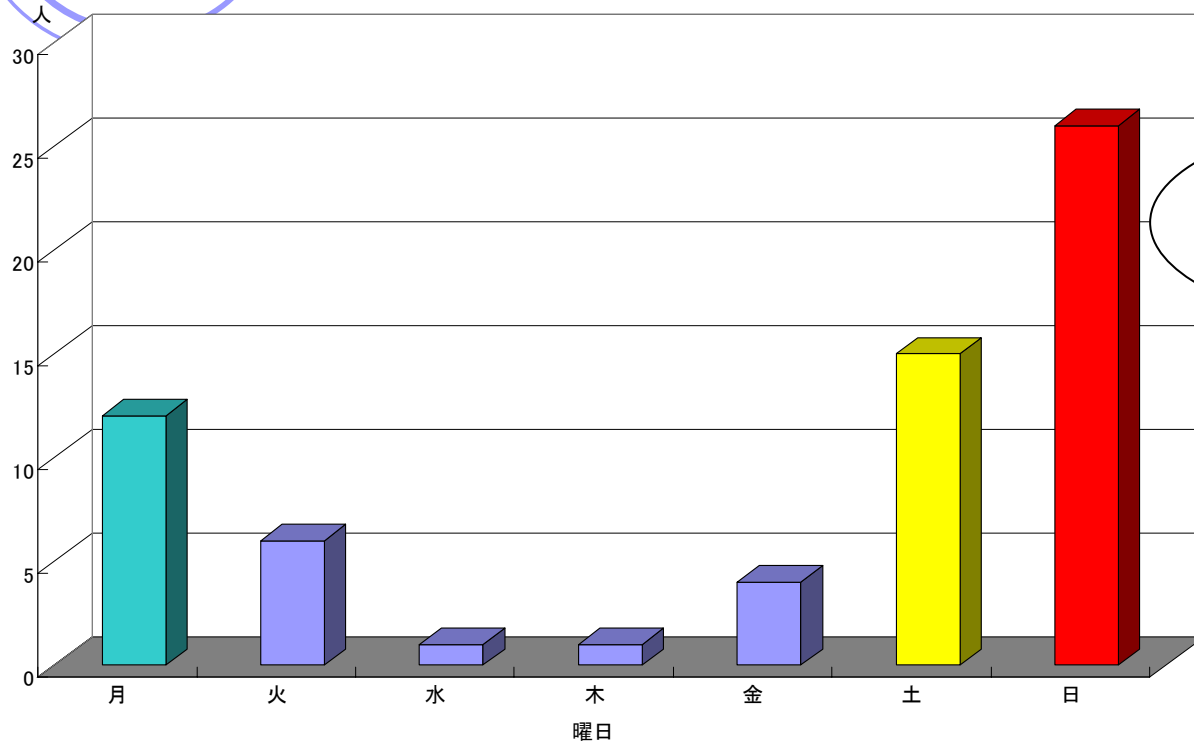
平成19年遊泳者事故発生状況(月別)



平成19年の遊泳者の事故は想像通り圧倒的に8月が多い。



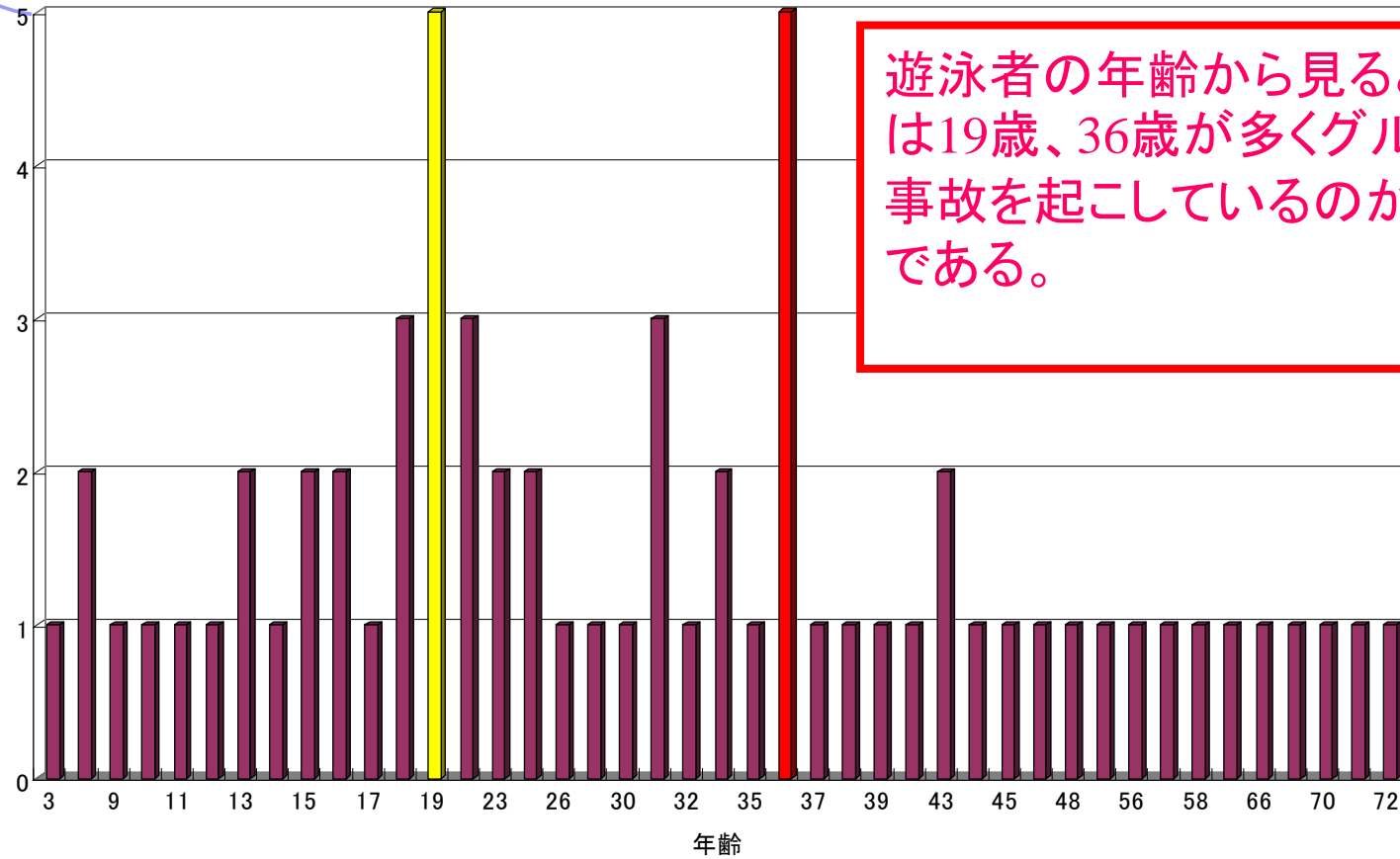
平成19年遊泳者事故発生状況(曜日別)



夏休みという事を考えれば
曜日に関係ないと思われるが、
やはり、土・日が圧倒的に多い。



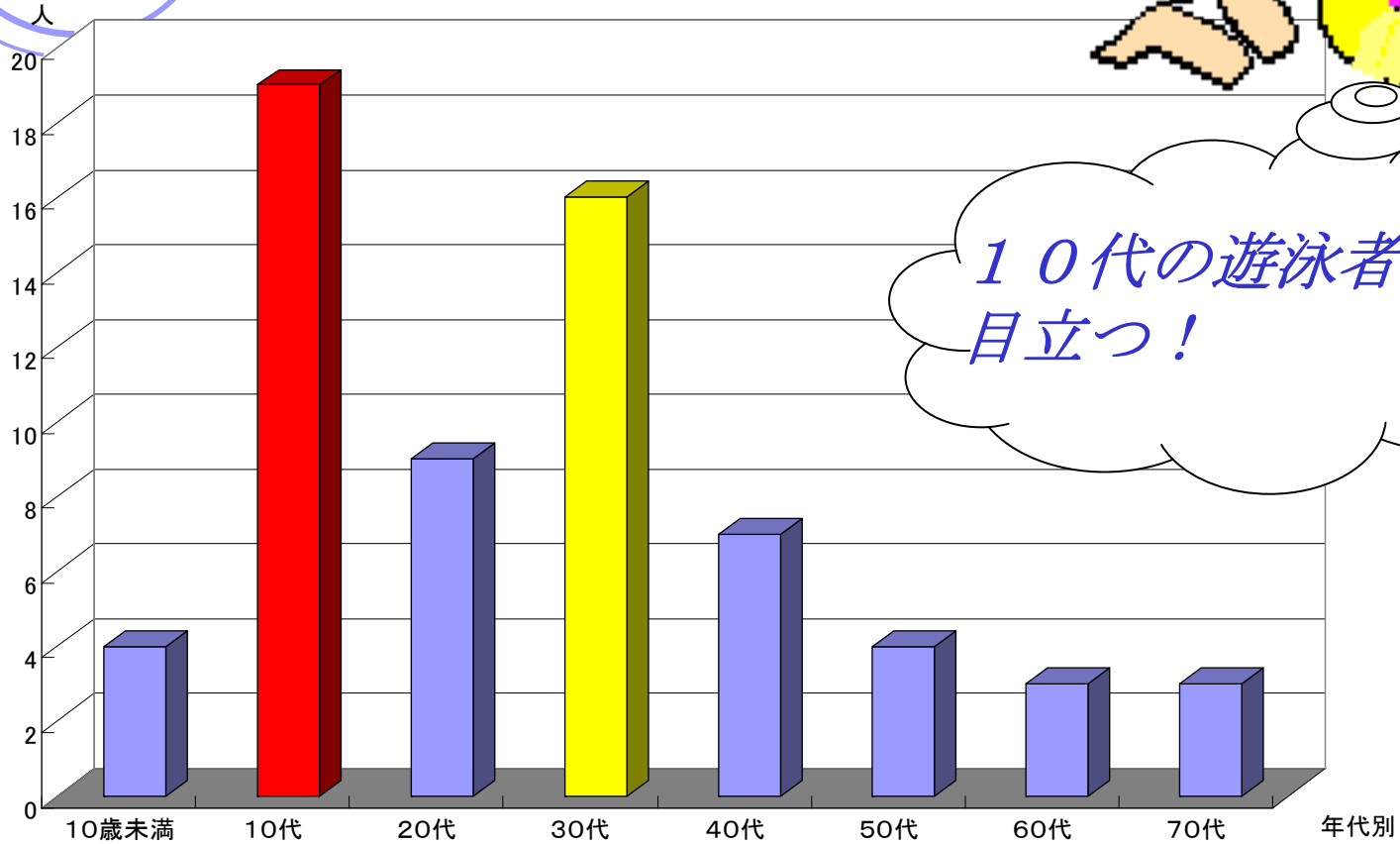
平成19年遊泳者事故発生状況(年齢別)



遊泳者の年齢から見ると、今回は19歳、36歳が多くグループで事故を起こしているのが特徴的である。



平成19年遊泳者事故発生状況(年代別)



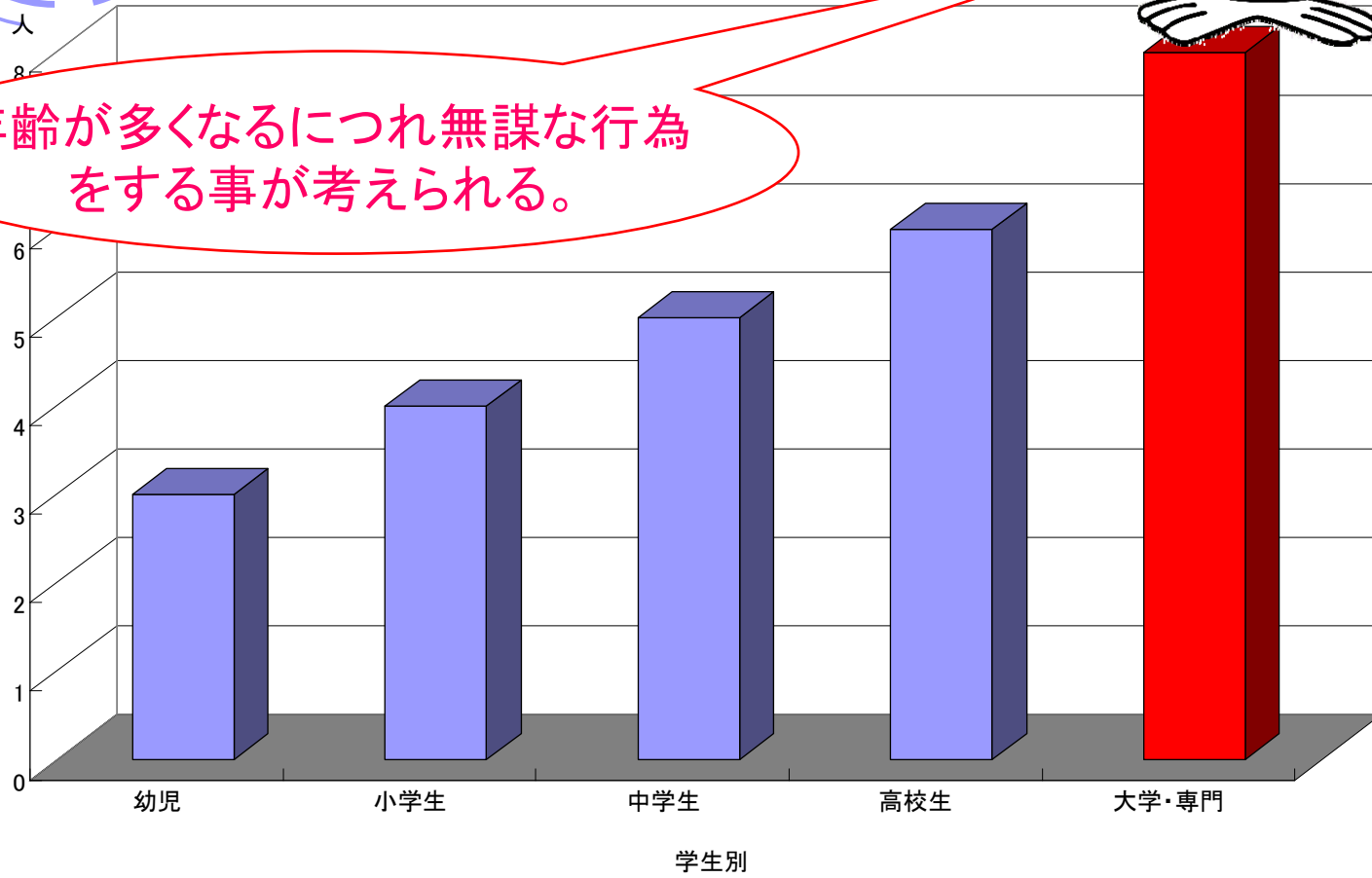
10代の遊泳者事故が目立つ!



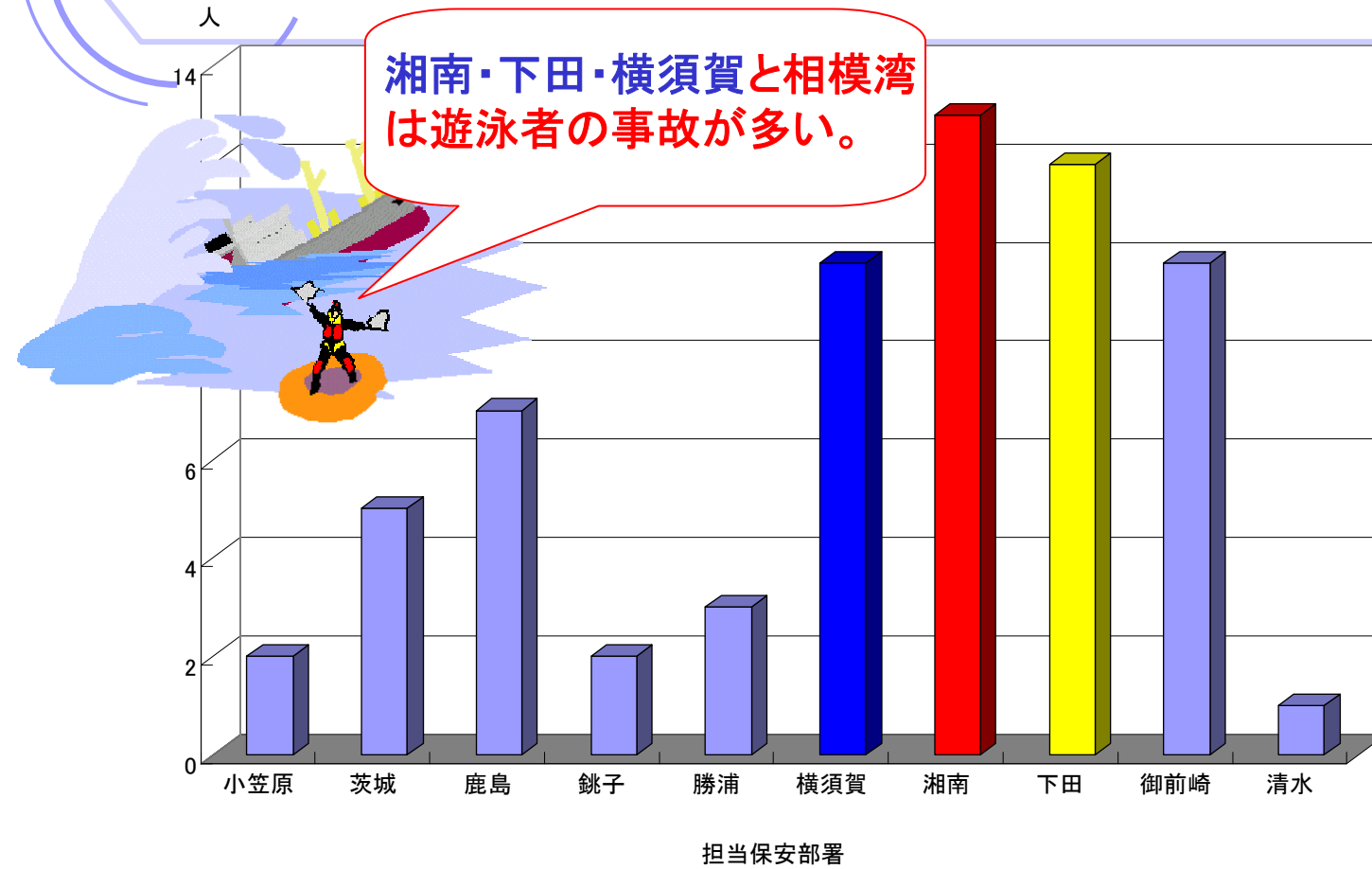
平成19年度遊泳者事故発生状況(学生別)



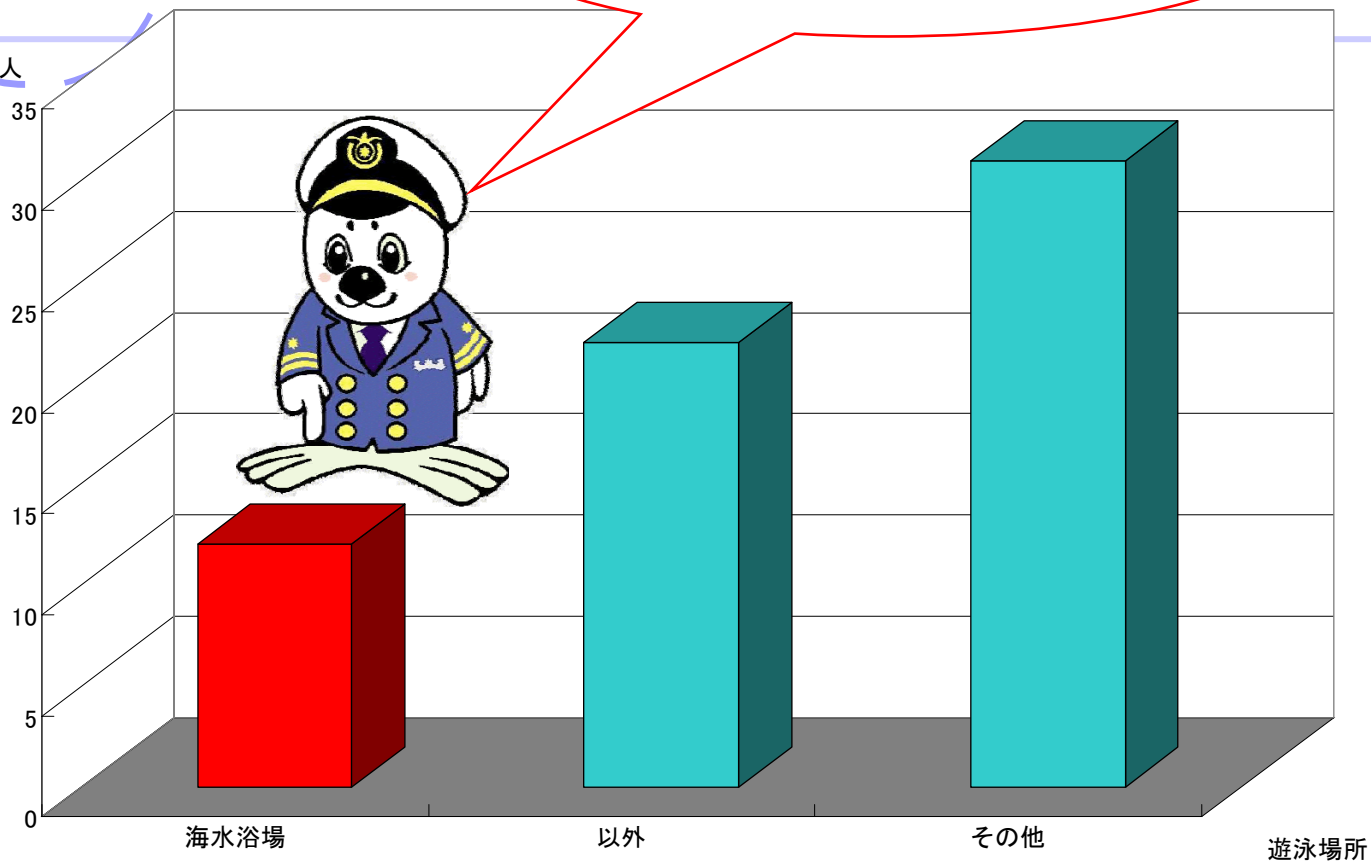
年齢が多くなるにつれ無謀な行為
をする事が考えられる。



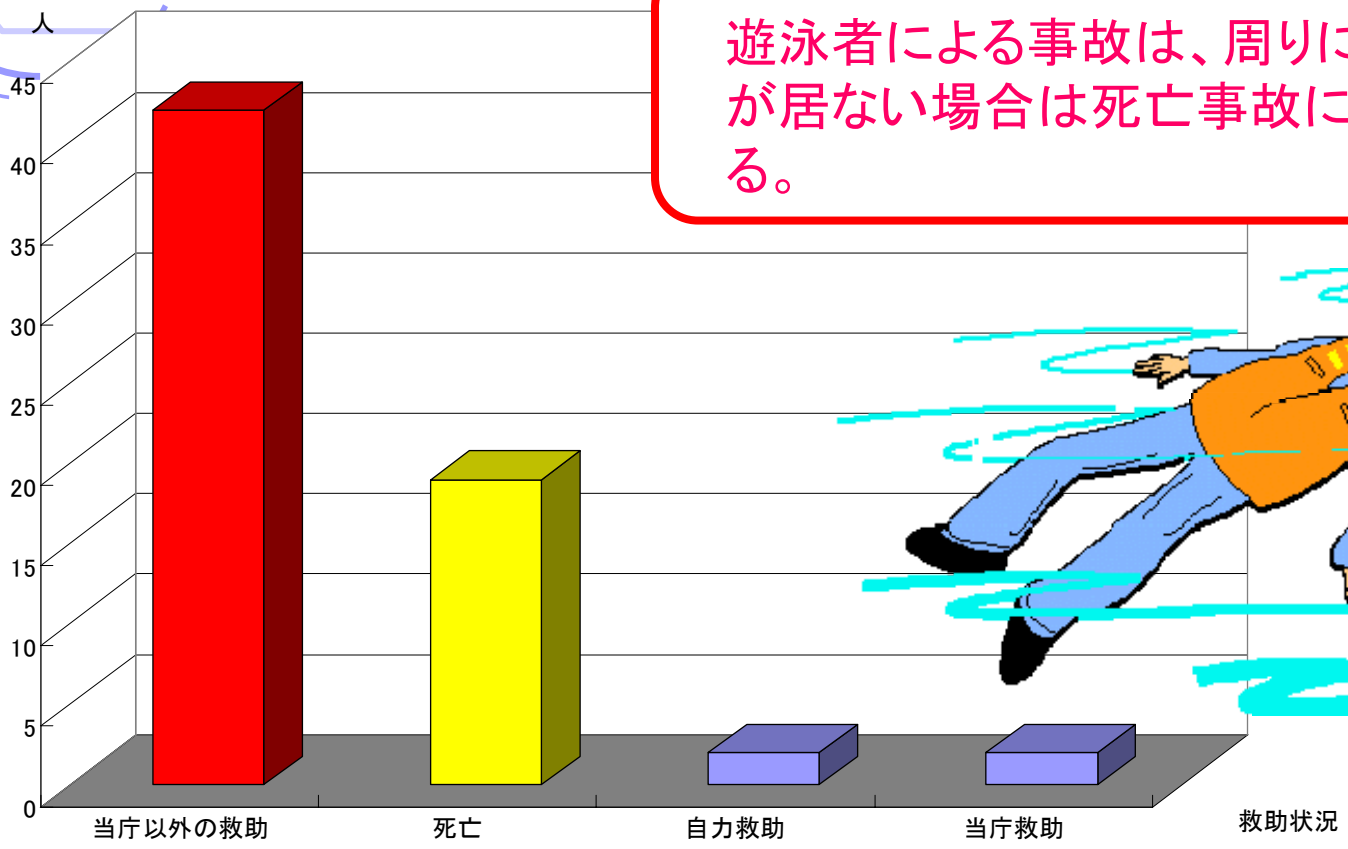
平成19年遊泳者事故発生状況(担当保安部署)



海水浴場での事故は全体の18%
と低い事が分かる。



平成19年遊泳者事故発生状況(救助状態)

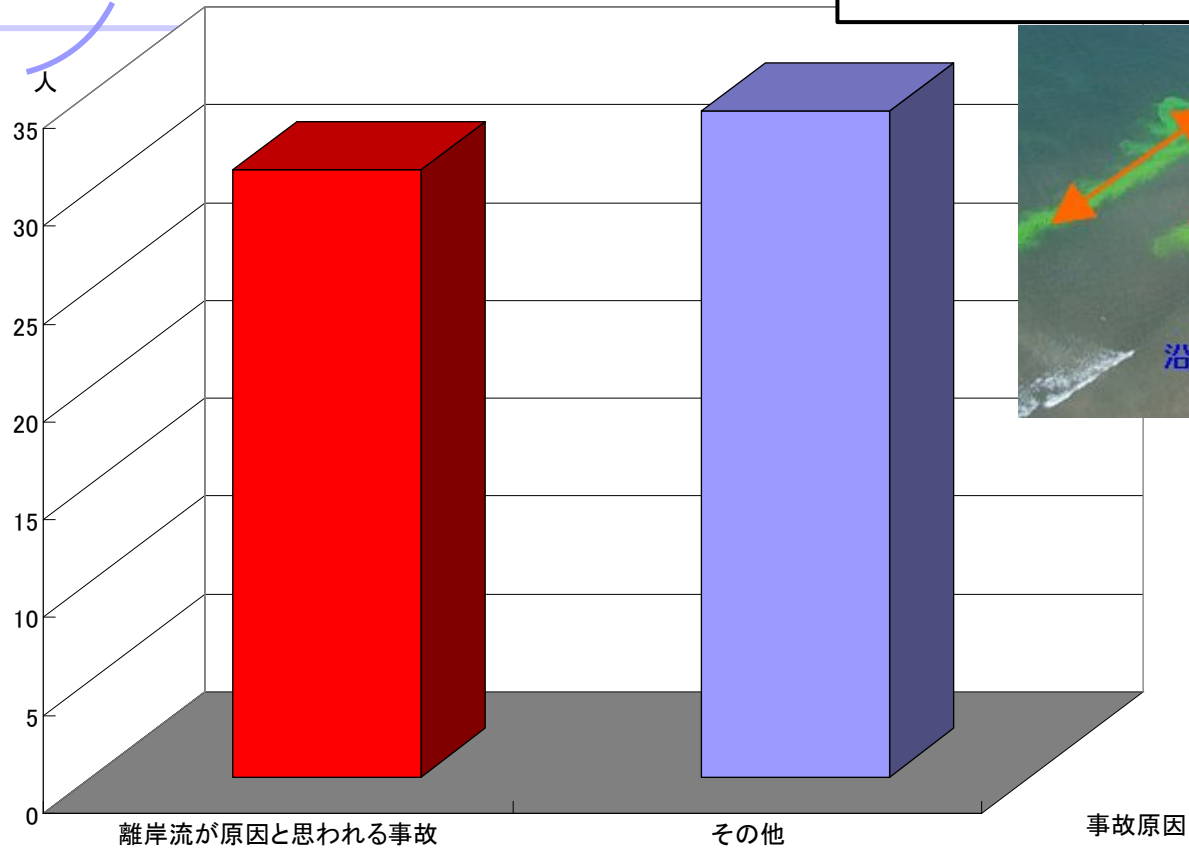


遊泳者による事故は、周りに人が居ない場合は死亡事故に繋がる。



離岸流が原因と思われる事故は全体の半分近くに達する。

平成19年遊泳者事故発生状況(離岸流)



まとめ

平成19年遊泳者事故発生状況の分析結果

- 遊泳者の事故は8月の土・日曜日に多い。
- 遊泳者の事故は10代がもっとも多い。
- 遊泳者の事故は相模湾を中心とするエリアが最も多い。
- 遊泳者は殆ど海水浴場以外で事故を起こし、死亡事故に繋がりがやすい。
- 遊泳者事故の半分は離岸流が原因と思われる。



